

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 14 例(感染地域:石川県 9 例*、インド 3 例、エジプト 1 例、ネパール 1 例)*すべて飲食店における集団発生
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 96 例(うち有症者 66 例、HUS 2 例)[感染地域:国内 85 例、中国 11 例* 国内の多い感染地:静岡県(14 例)**、佐賀県(9 例)、岩手県(8 例)*うち 10 例は高校の修学旅行における集団発生。 **うち 11 例は保育施設に関連した集団発生。 年齢群:10 歳未満(23 例)、10 代(38 例)、20 代(7 例)、30 代(12 例)、40 代(4 例)、50 代(6 例)、60 代(1 例)、70 歳以上(5 例) 血清型・毒素型: O157 VT2(34 例)、O26 VT1(25 例)、O157 VT1・VT2(19 例)、O111 VT1・VT2(3 例)、O111 VT1(2 例)、O157 VT1(2 例)、O121 VT2(1 例)、O145 VT1(1 例)、その他/不明(9 例)]
- 4 類感染症: A 型肝炎 2 例(感染地域:和歌山県 1 例、中国 1 例)、日本紅斑熱 2 例(感染地域:愛媛県 1 例、長崎県 1 例)、レジオネラ症 12 例(全て肺炎型)[年齢群:40 代 3 例、50 代 4 例、60 代 3 例、70 代 1 例、80 代 1 例 感染地域:群馬県 2 例(ともに温泉)、千葉県 2 例、新潟県 2 例、秋田県 1 例、福島県 1 例(温泉)、岐阜県 1 例、静岡県 1 例、愛媛県/山口県 1 例(温泉)、福岡県 1 例]、レプトスピラ症 1 例(感染地域:和歌山県、感染原因:川遊び)
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 9 例(腸管アメーバ症 6 例、腸管外アメーバ症 3 例)[感染地域:国内 8 例、中国 1 例 感染経路:経口 1 例、性的接触(同性間)1 例、経口/性的接触(異性間)1 例、不明 6 例]、ウイルス性肝炎 2 例[B 型 1 例(感染経路:性的接触(異性間))、C 型 1 例(感染経路:不明)]、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例(ともに孤発性プリオン病古典型)、後天性免疫不全症候群 11 例(すべて無症候)[感染地域:国内 8 例、ケニア 1 例、国内/タイ 1 例、国内/国外不明 1 例 感染経路:性的接触 10 例(異性間 2 例、同性間 7 例、異性間・同性間不明 1 例)、不明 1 例]、梅毒 6 例(早期顕症 I 期 2 例、早期顕症 II 期 2 例、無症候 2 例)、破傷風 1 例(80 代)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例(遺伝子型:不明、菌検出検体:胆汁)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ:定点当たり報告数は微減した。都道府県別では沖縄県(0.12)、岐阜県(0.05)、宮崎県(0.05)が多い。

小児科定点報告疾患:RS ウイルス感染症は 120 例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 79%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は 2 週連続して減少したが、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では三重県(1.6)、長野県(1.3)、高知県(1.2)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では福島県(1.9)、鳥取県(1.8)、宮崎県(1.7)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は 2 週連続して減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では熊本県(5.6)、福井県(5.0)、三重県(5.0)が多い。水痘の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では石川県(0.93)、徳島県(0.83)、大分県(0.83)が多い。手足口病の定点当たり報告数は 2 週連続して減少した。都道府県別では長野県(3.9)、新潟県(3.7)、石川県(3.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では徳島県(0.78)、岐阜県(0.68)、宮城県(0.59)、愛知県(0.58)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では千葉県(0.08)、栃木県(0.07)、和歌山県(0.06)が多い。風しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では北海道(0.01)、千葉県(0.01)から各 1 例ずつの報告である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第 28 週以降、減少が続いている。都道府県別では秋田県(0.86)、宮城県(0.85)、高知県(0.47)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では秋田県(0.03)、沖縄県(0.03)、京都府(0.01)から各 1 例ずつの報告である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(3.0)、長野県(2.1)、大分県(1.8)が多い。

基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府(1.4)、青森県(1.0)、宮城県(1.0)、新潟県(1.0)、富山県(1.0)、沖縄県(1.0)が多い。

	小児科定点													眼科定点		基幹定点							
	1) インフルエンザ	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	2) 流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	3) 流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	4) 無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																							
愛媛県	.0		.1	1.0	2.5	.8	1.1	.1	.9			.2		.6		3.6			.3				
近畿	香川 徳島 高知		.4	.4	2.5	.7	.3	.1	.5			.1		.8		2.0							
		.1	.3	.8	1.1	.8	.2	.8	.4			.1		1.5									
	高知		1.2	.3	3.0	.4	.6	.0	.8			.5		.4		1.7			.1				
全国	.0	.0	.4	.7	2.5	.5	1.0	.3	.6	.0	.0	.3	.0	.8	.0	.9	.0	.1	.4	.0			
北海道			.2	1.5	1.0	.5	1.6	.1	.4		.0	.4		.7		.4							
東北	.0	.0	.3	.9	1.9	.5	1.0	.3	.6	.0	.0	.5	.0	.8		.5			.5	.0			
関東	.0	.0	.3	.7	2.2	.5	1.0	.3	.6	.0	.0	.2		.5	.0	1.3	.0	.1	.4	.0			
甲越北陸	.0	.0	.6	.8	2.5	.5	3.0	.2	.5			.3		1.7		1.1		.1	.5	.0			
東海	.0	.0	.6	.6	2.6	.4	1.0	.5	.7	.0		.2		.7	.0	.5			.4				
近畿	.0	.0	.3	.6	2.4	.4	.6	.2	.6	.0		.2	.0	.7		.7		.1	.4				
中国四国	.0	.0	.4	.6	3.2	.5	.3	.2	.7	.0		.2		.8		1.3	.0	.0	.3				
九州沖縄	.0	.2	.5	.6	3.6	.5	.7	.2	.6	.0		.2	.0	.9	.1	1.2		.1	.3				

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。(9月28日集計)

全国 全数把握感染症 第38週 (2006.9.18 ~ 9.24)

疾病名	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																				
	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス	(6)パラチフス		(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ボツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
全 国	14				96			2							2								12	1	9	2			2		11					6	1		1		
第38週報告数	四 国	愛 媛 県													1								1																		
		香 川 県																																							
		徳 島 県																										1													
		高 知 県					1																																		
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道				1																																			
		東 北 関 東				11																		1			1														
		甲信越北陸		1		20																		5			2														1
		東 海 近 畿		9		4			1															2			2														
		中国 四 国		4		8			1																1	2	1														
		九州 沖 縄				3										1								1	1	1															
週 推 移	全 国	38週	14			96			2														12	1	9	2			2		11					6	1		1		
		37週	1	8	1	1	107			4	1			1		4							8	2	9	3		1	1	1	15				6	3		2			
		36週	1	11	1	1	158			13		1			2	1				1			12	4	5	1	1	1	4	1	13		1		4	2		1			
		35週	2	12		1	257	1		6				1	1	3	1			5		2	6	1	8	3			3	1	20	2		8	4						
2006年累積数	四 国	全 国	40	344	54	19	3002	53		275	17	16	1	1	176	38	26	1	3		1	47		8	364	10	551	188	125	11	123	88	937	64	11		448	84		52	
		愛 媛 県		5	2		14			4						1		7							2		4	3	1	1	2		6			3	1				
		香 川 県					11			1		2	1												3		2		1		1	3				6					
		徳 島 県					40			1																	3			1					3	1					
	ブ ロ ッ ク 別	高 知 県		2	1		3			2							2	1								1	2	1					3			23	1				
		北 海 道		2			54	15		13	16				1				1					2	8		15	4	5	2	7	6	22	1			8	3			
		東 北 関 東	1	9			283	2		9		2		100							4				20		18	15	4		6	4	28		1		31	2		4	
		甲信越北陸	7	30	3	1	691	15		51		5		1	8	22			1		23		2	116	4	259	47	44	6	34	30	485	33	5		140	26		21		
		東 海 近 畿	4	28	5	2	365	3		30	1	2			4	6					4		2	57		64	24	14		12	14	105	2	1		48	7		9		
		中国 四 国	3	12	3		320	3		35		2	1		10	1	11	1			3				31		23	17	16	1	17	6	34	3		52	11		3		
九州 沖 縄	3	26	3		526	6		27					11	4	11							24	4	25	15	16		14	2	41	6	2		95	22		5				

医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.9.28集計)